

要望項目第1号

九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）の早期整備について

全商工会議所 共同提案

わが国の最西端に位置している長崎県にとって、高速交通網の基軸である新幹線の建設は、県勢浮揚のために不可欠のものであり、これまで、官民挙げて、その実現を目指し建設推進運動を展開して参りました。

県ご当局におかれましては、県政の最重要課題としてこれまで積極的に取り組んでいただき、お蔭をもちまして、平成20年4月に武雄温泉～諫早間が着工されました事は誠に喜ばしく、県ご当局のご労苦に敬意を表するとともに感謝申し上げます次第であります。

しかし、新幹線の建設効果を最大限に生かすためには長崎までの延伸が不可欠であり、その早期認可が待たれているところであります。

つきましては、九州新幹線西九州ルート（長崎ルート）が一日も早く実現を見ますように、下記事項について引き続き、特段のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 諫早～長崎間の早期認可・着工、武雄温泉～長崎間のフル規格整備並びに一括開業及び武雄温泉～諫早間の着実な整備
2. 肥前山口～武雄温泉間の複線化等改良の早期実現
3. JR佐世保線等の輸送改善（フリーゲージトレイン導入の推進）

要望項目第2号

中小企業対策の充実について

全商工会議所 共同提案

長崎県内経済は、依然として雇用環境が厳しく公共投資や民間設備投資あるいは、個人消費の低迷が続くなど、景気の先行きはまだまだ厳しく、地域の中小企業は生き残りをかけて懸命の企業努力を続けている状況です。

とりわけ経営基盤が脆弱な小規模事業者においては、外部環境の変化に対応できず事業存続が危ぶまれる先も少なくありません。

つきましては、中小企業のおかれている厳しい現状をご理解いただき、地域経済の担い手である中小企業が活力を取り戻し、独自の創造性や機動性を発揮できる経営環境の整備・充実のため、下記事項について、特段のご高配をお願い致します。

記

1. 中小・小規模企業に十分配慮した対策事業の予算の確保・拡充

- ①小規模事業者の経営支援に資する小規模事業経営支援事業費補助金指導事業費の拡充
ならびに同補助金基礎事業費の維持

2. 構造変化に対応するための支援策の拡充

- ①新製品（商品）・新技術開発への助成制度と融資制度の拡充
- ②産学官、企業間連携強化対策の支援強化
- ③展示会等への出展支援、商談会開催支援など販路開拓・マーケティングの支援強化
- ④創業・ベンチャー・事業承継・新分野進出における支援の拡充
- ⑤各種助成制度における概算払いの実施
- ⑥国が認定・支援する事業に関する協調補助制度の創設

3. 各種支援策に関する周知のさらなる徹底

- ①県内各地における中小企業関連施策等の説明会・意見交換会の実施

要望項目第3号

観光振興について

全商工会議所 共同提案

長崎県は、県内全域に多くの観光資源を有しており、これまで数多くの観光客が来県するなど、全国でも屈指の観光地として評価されてまいりました。

昨年は大河ドラマ「龍馬伝」放映の効果等もあり、県内の観光客動向は上向きに転じたものの、先に発生した東日本大震災にともなう原発事故等により、日本が安心・安全の国であるイメージが損なわれ、風評被害も重なって、本県を訪れる外国人観光客は激減いたしました。

長崎県におかれましては、観光を本県の基幹産業に位置づけた観光振興施策を積極的に推進して頂いているところですが、観光需要の回復による一層の観光振興を図るため、下記項目について特段のご尽力をお願い申し上げます。

記

1. 安全性に関する情報発信と九州各県が一体となった中国等への観光客誘致の働き掛け
2. 中国・韓国等東アジアをターゲットとした外国人観光客の誘致促進とインフォメーションや案内板等の整備など受入れ環境の整備
3. 長崎ー上海航路を中心とした観光プロモーションの積極的な展開
4. 「観光」の重要性に対する県民・市民意識の醸成促進
5. 九州新幹線鹿児島ルート全線開通を活用した長崎県への誘客戦略の展開
6. コンベンション機能を有する施設の早期建設及び大型会議、学会等の誘致促進
7. 長崎の教会群とキリスト教関連遺産並びに九州・山口の近代化産業遺産群の世界遺産登録促進及び観光資源となりうる地域資源の整備・保全・活用

要望項目第4号

製造業の振興について

全商工会議所 共同提案

わが国の基幹産業である製造業においては、優れた技術を培った中小企業の存在が競争力の源泉として重要な役割を担っております。

しかしながら、近年、グローバル化の進展をはじめ、企業を取り巻く環境の劇的な変化により、地域経済を支える基幹製造業においてもこれまで通りの域内操業継続が困難になることも心配されている状況にあり、官民挙げての対応が必要となってきております。

こうした中、長崎県におかれましては、本年3月に「長崎県産業振興ビジョン」を策定され、個々の企業や複数の地場企業の連携を産学官金の支援チーム等による地場製造業の競争力強化に取り組んでいただいておりますことに対しまして感謝申し上げます。

また、県内の中小製造業は市場ニーズの把握に努めるとともに、新技術や高付加価値製品の開発等による競争力の強化に積極的に取り組んでおりますが、資金・人材・情報等の経営資源に乏しく十分な成果を得ることができずしております。

つきましては、県ご当局の強力な支援措置が講じられることを強く望むものであり、特に下記の事項について、格段のご配慮をお願い申し上げます。

記

1. 基幹製造業本体の県内における新規事業創出や生産能力増強に対する補助・優遇措置等による積極的かつ継続的支援
2. 県内基幹製造業全体に寄与度の高い域外企業の積極的誘致
3. 県産技術及び県産製品の行政機関における積極的かつ継続的採用
4. 企業の人材育成・技術承継、並びに技術系新卒者の県内定着に向けた一層の支援
5. 県内各地域の製造業等との意見交換会の実施

要望項目第5号

商店街等の活性化対策の推進について

全商工会議所 共同提案

近年、人口の減少と高齢化や、インターネットによる通信販売、物産直販所といった業態の多様化などにより地域の商店街を取り巻く環境は更に厳しい状況になっています。

こうした中、長崎県におかれましては、コンパクトで賑わいあふれる街づくりの実現を目指して長崎県まちなか活性化推進事業等を推進していただいているところであり、こうした取り組みは、地域経済の活性化はもとより、地域住民の安全・安心で快適な生活環境の創出、地域の歴史・文化の伝承・発信に大きく寄与するものであると存じます。

まちなかの活性化につきましては、地域の創意工夫など現場の声が反映される仕組みを構築していただくとともに、関連する各種助成金等を拡充していただくなど、尚一層のご支援をお願いします。

また、街づくりを考慮しない大規模集客施設の立地を抑制するために、現行の広域調整機能は維持していただきますよう特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

一方、過疎化や高齢化が進展する中で、食料品等の日常の買い物に困る「買い物弱者」の増加などの問題が更に顕在化していく中で、近隣型商店街においては、今後その役割が見直されることが予測されます。こうした商店街においては、長崎県まちなか活性化推進事業の対象外であるなど、活性化支援施策が手薄となっているのが現状です。地域の衰退が加速しないよう近隣型商店街の活性化を図るための支援策について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要望項目第6号

公共工事の拡大と地元企業への優先発注について

全商工会議所 共同提案

現下の景気情勢は、長引くデフレや円高・消費低迷などにより、中小・小規模企業においては、依然として回復の実感に程遠い厳しい状況が続いています。

とりわけ、地元建設業並びに関連事業者においては、折からの公共事業の減少に加えて、民間需要の縮小が重なり、経営環境の悪化から事業所数、就業者数とも減少傾向にあります。

こうした中、長崎県におかれましては、県内製品・県産品の優先使用等基本方針を定められ、県内需要の創出等に取り組んでいただいておりますことに、改めて感謝申し上げる次第でございます。

各企業におきましても、経営の合理化や人員削減など、企業の維持存続に向け、徹底した対策を講じておりますが、事態はもはや個々の経営努力の限界を超えた局面に達しています。

さらに、建設技能者の高齢化が進む一方で、若年層の就業希望者も減少しており、将来の人材不足、産業活力の低下も強く懸念されるところであります。

建設業は、下請や資材調達など幅広い業種が関わり、また多くの雇用を創出するなど、地域経済に多大な影響力を持つ基幹産業であります。同時に、社会資本の維持・整備の担い手として安全・安心な市民生活を支える上で極めて重要な役割を果たしています。

つきましては、こうした地元建設業並びに関連事業者の憂慮すべき実情を何卒ご賢察の上、公共事業予算と発注機会の拡大及び地元事業者への優先発注と分離・分割発注等による地元事業者の参入機会を確保・拡大していただくよう、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

要望項目第7号

県北地域道路網の整備促進について

佐世保商工会議所
平戸商工会議所
松浦商工会議所
共同提案

県北地域の道路網の整備につきましては、西九州自動車道をはじめ、国道並びに一般県道において工事進捗が図れておりますが、西九州自動車道においては、長崎県の動脈として地域内全住民がその一日も早い全線開通を熱望しているところでございます。

また、高速道路に連結するアクセス道路並びに周辺道路の整備は、地理的条件とも相まって遅れているのが現状であり、県北地域の産業・観光・文化の交流発展を図る上で最も喫緊な課題であります。

つきましては、旧産炭地を抱え、過疎化の進む県北地域の活性化を図るため、下記道路の整備促進につきまして格別の御高配を賜りますよう要望致します。

記

1. 高規格幹線道路網等の整備促進について

- (1) 西九州自動車道 松浦～佐々間（松浦IC～江迎町～佐々IC）の早期事業化及び平戸インター、江迎鹿町インターの設置
- (2) 西九州自動車道 伊万里松浦道路（伊万里市～松浦市）の早期完成

2. 国道の整備促進

- (1) 地域高規格道路（東彼杵道路）の計画路線への指定
- (2) 国道205号（針尾バイパス）の整備促進
- (3) 国道383号線（平戸～志々伎（しじき））の整備促進
- (4) 国道204号線（松浦～伊万里）の早期整備着工

3. 県道の整備促進

- (1) 早岐瀬戸架橋（第2期工事）の整備促進
- (2) 主要地方道「佐世保・吉井・松浦線」（大渡バイパスの）整備促進
- (3) 主要地方道「佐世保・日野・松浦線」（椋呂路トンネル（仮称））の早期事業化
- (4) 県道19号線（志々伎（しじき）～宮の浦）の整備促進

要望項目第8号

県央地域道路網の整備促進について

諫早商工会議所
大村商工会議所
共同提案

県央地域は、長崎空港や九州横断自動車道へのアクセス拠点として、また、主要幹線が集中する県交通網の中核として、重要な役割を果たしているところではありますが、こうした中、現在、県において推進されている県内2時間交通圏構想を実現していくためにも、交通量の増大に伴う当地域内の慢性的な交通渋滞を早急に解消することが大きな課題であります。

特に諫早市本野交差点三叉路付近は、長崎空港や大村市中心部と諫早市を結ぶ国道34号の中にあって交通渋滞が日常化しており、整備中の他の路線の効果を高めるためにも改良が要求されるのですが、まだようやく調査に入った段階であり、早急に着手していただくことが必要だと考えます。

つきましては、幹線道路の交通渋滞を解消するとともに、長崎空港及び九州横断自動車道へのアクセス道路としての機能を早期に整備するために、下記道路の整備について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 国道34号諫早市本野交差点三叉路の交通渋滞緩和のための改良整備
2. 国道34号諫早市下大渡野町から大村市与崎までの拡幅改良の早期着手
3. 国道34号線（大村市空港南口～大村市水主町間）の拡幅事業早期着手
4. 国道34号諫早北バイパスの4車線拡幅の早期着手
5. 都市計画道路「池田沖田線」の早期整備
6. 国道57号諫早市小野町から雲仙市愛野町までの区間の早期整備

要望項目第9号

長崎市域道路網の整備促進について

長崎商工会議所 提案

道路は、地域経済の活性化、安心・安全な地域の形成をもたらす基礎的な社会資本であると同時に、災害時には物流や医療等県民の生活を守る生命線として、必要不可欠なものであります。

長崎市においては、地形的な制約から放射環状型幹線道路網の整備に取り組んでいるものの、環状道路や副線が不十分であるため、交通渋滞が日常的に発生し、経済活動や市民生活に支障をきたしております。

活力ある地域づくりを推進していくためにも、特に下記道路整備について格段のご配慮をお願い申し上げます。

記

1. 高規格幹線道路網等の整備促進について

- (1)九州横断自動車道「長崎IC～長崎多良見IC」の4車線化の早期着工
- (2)長崎外環状線道路新戸町IC～柳田IC間の整備促進

2. 国道の整備促進

- (1) 国道34号線の道路整備について
 - ①肥前古賀駅入り口交差点の早期整備
 - ②長崎多良見IC出口交差点～古賀町交差点の4車線化の早期整備
- (2)国道499号（蚊焼・栄上・岳路工区）の早期整備について

要望項目第10号

島原半島活性化対策としての地域高規格道路の
早期建設について

島原商工会議所 提案

島原半島における地域高規格道路の早期建設要望につきましては、長年の要望活動の結果、実現に向かって進みつつあり、関係皆様方のご尽力に深く感謝申し上げます。

島原半島の発展は、県内外間の交流の活発化を促す規格の高い地域に密着した道路網の整備で、九州新幹線西九州ルート建設着工による観光誘致・県央地域の第三次救急医療施設との連携による半島内緊急医療体制支援のための道路として、又、全国総合開発計画に明記されている島原・天草・長島架橋のアクセス道路としても重要な機能を備え持つものであります。

現在、諫早市から深江町までの延長50キロメートルが「計画路線」として指定を受け、逐次整備を図っていただいておりますが、さらに地域高規格道路「島原道路」（島原市出平町―雲仙市吾妻町間）は、「島原半島地域の交通機能強化検討委員会」でも島原道路のルートに関する提言も提出されており「調査区間」指定にさせていただきますようお願い致しますとともに、一日も早い完成のために格別のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要望項目第11号

地域高規格道路・有明海沿岸道路の延伸区間（鹿島市～太良町～諫早市）
の候補路線への早期指定について

諫早商工会議所
島原商工会議所
共同提案

有明海沿岸道路は、平成6年12月に大牟田市～鹿島市間の約55kmを地域高規格道路に指定、その後、平成9年には全線調査区間に指定されており、現在、夫々の工事区間において用地買収・環境アセスメント等、所要の手続き等が進められており、一部区間においては既に開通し着実に遂行いたしております。

有明海沿岸道路は、有明海を囲む4県の今後の経済活性化には必要不可欠な交流推進型広域道路であり、域内拠点と有機的に結ぶ循環型ネットワークの形成を図るうえからも、非常に重要な役割を果たすものと期待されております。

有明海沿岸道路による有機的循環型ネットワーク形成のためには、現在空白地帯となっている「鹿島市～太良町～諫早市間」の早期整備が不可欠であり、本区間が、整備されることにより、九州横断自動車道、長崎空港、佐賀空港などの交流・物流拠点へのアクセスが向上し、島原半島の地域高規格道路とも連結され、真に有明海を囲む環状高速交通ネットワークが形成されます。

つきましては、「鹿島市～太良町～諫早市間」の有明海沿岸道路延伸区間として候補路線指定および事業調査区間指定につきまして、早急なご対応を賜われますよう特段のご高配をお願い申し上げます。

要望項目第12号

空港の利用促進について

全商工会議所 共同提案

我が国初の海上空港として昭和50年に開港いたしました長崎空港は、県内外を結ぶ航空路線の拠点空港として重要な役割を担っています。

この長崎空港のさらなる発展には、海上空港としての優位性を活かし、空港機能並びに国際・国内航空路線網等の整備拡充をさらに推進する必要があります。

また、福江空港をはじめとする離島空港施設の整備促進や就航率の向上は、離島住民の生活向上、経済活動の円滑化のためにも極めて重要であります。

しかしながら、近年の厳しい経済状況を反映し利用客は減少傾向にあり、路線撤退や機材の小型化等が図られております。

つきましては、県内各空港の利用増大を実現し、県内空港の路線維持・拡充が図られますよう特段のご尽力をお願い致します。

記

1. 国際・国内航空路線の維持拡充
2. 離島航空路線の維持・拡充と支援強化
3. 長崎空港利用促進対策の推進

要望項目第13号

港湾機能の整備促進について

全商工会議所 共同提案

アジアの急激な経済発展を背景として、わが国はもとより、東アジア地域における物流は大きな転換期を迎えております。

こうした中、東アジア地域に地理的に近い長崎県においても、貨物の多様化が予想されており、県内各港湾がアジアの物流拠点として、また、国内・県内の中継基地としての役割を果たすためにも、港湾施設の機能整備が急務であると考えます。

つきましては、港湾整備計画事業費の確保とともに、長崎県内地域発展の基盤となる下記各港湾施設の機能整備等について、早急な措置を講じてくださいますようお願い申し上げます。

記

〈重要港湾〉

1. 長崎港小ヶ倉柳地区における埠頭拡張工事の早期完成、同港湾設備等の早期整備拡充、臨海道路（小ヶ倉柳戸町線）の整備促進
2. 佐世保港におけるすみ分けの早期実現
3. 福江港港湾機能の拡充促進

要望項目第14号

「新ハウステンボスの再生支援とゲーミング（カジノ）の制度創設」について

佐世保商工会議所 提案

ハウステンボスは、九州観光の大きな柱として再スタートし、経済発展の著しいアジア地域、特に韓国・中国や台湾などからの膨大なインバウンド観光客受入を目指しています。

更に、長崎県内をはじめ九州地域に密着した魅力ある「東洋一の新しい観光都市」への変貌発展を基本方針として、重要な観光拠点であるとともに景観・環境に配慮したまちづくりの推進を目標としております。

また、ハウステンボスへのカジノ施設の設置に向けた構想は、単に新しいタイプの遊戯施設を整備することが目的ではなく、国際的な観光・交流の推進とともに、地方活性化の起爆剤として、県域を越えた広域的な枠組みの中で、カジノの収益を活かした多様な産業の活性化・雇用創出、環境保全、福祉の充実など、地方全体の持続可能な発展を牽引するモデルを構築することを目的としています。

つきましては、早期のハウステンボス再生とゲーミング（カジノ）制度創設のため、下記の項目につきまして、特段のご尽力とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 東アジアからの観光客の集客活動
2. 九州圏内の官民一体となった利用促進
3. ハウステンボスと連携したコンベンションの誘致活動
4. ゲーミング（カジノ）の制度創設に向けた取り組み

要望項目第15号

石木ダムの建設促進について

佐世保商工会議所 提案

佐世保市では、古くから深刻な渇水に見舞われており、近年では平成6年の264日間にわたる時間制限給水、平成19年の160日間の減圧給水制限が実施され、市内企業の多くが損害を被ったところであります。

過去の渇水におきましては、製造業の操業停止や一部操業停止、観光業のイメージ低下やサービスの低下、飲食業・サービス業の顧客流出やタンク設置等による負担増など大きな影響を受けて参りました。

石木ダム建設は、佐世保市内企業の安定した利水対策の残された唯一の水源としてきわめて重要であり、また市民にとっても安心・安全な水道水源として必要不可欠な施設であります。また、ダム建設による効果は、地域の企業再生と新規企業誘致での雇用創出による県北地域定住人口減少の歯止めなど、地域活性化に寄与することになります。

長崎県におかれましては、本地域経済の再生と地域振興にとりまして本事業の重要性をご賢察いただき、佐世保市における利水対策が一刻も早く実現されますよう、石木ダム建設促進につきまして、特段のご尽力とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

要望項目第16号

島原・天草・長島架橋の建設促進について

全商工会議所 共同提案

長崎から熊本、鹿児島にいたる九州西部地域は、九州の代表的な観光地であるとともに、その恵まれた資源を生かしたリゾート地域として、今後、飛躍的に発展する可能性を有している地域であります。

しかしながら、海によって隔てられた3県が島原・天草・長島地域を通じて、産業、経済、観光、文化の交流はもとより交流人口の増加を図り、地方定住を促進し、そのポテンシャルを活かした様々な地域振興プロジェクトの実現を図る上で、「島原・天草・長島架橋」の建設は、その中核として今日、もっとも必要とする交通基盤であり、早期実現が待たれているところであります。

お陰をもちまして平成11年3月には、島原・天草・長島架橋構想を中核とする九州西岸軸構想が「九州地方開発促進計画（第五次）」に明確に位置づけられるとともに、その後、国土交通省による自然条件調査、船舶航行実態調査等が実施されましたことは、県ご当局のご尽力の賜と感謝申し上げます。

つきましては、島原・天草・長島架橋の建設の1日も早い実現を見ますよう、引き続き特段のご尽力を賜りますようお願い致します。

要望項目第17号

大村湾架橋の早期実現について

長崎商工会議所
大村商工会議所
共同提案

県内の道路網、特に、高速自動車道は、関係機関の努力により着実に整備されつつあり、その経済効果は計り知れないものがあります。

こうした中、長崎県の横断軸については、依然として整備が未着手の状態であり、県内の交通網の整備の立ち後れを痛感致しております。

長崎空港開港当時、空港から西彼杵半島に海上大橋を架ける構想が浮上しましたが、国及び県当局の諸般の事情により実現しないまま今日に至っております。

しかしながら、大村湾架橋につきましては、長期的観点から長崎空港を核とする物流・貿易関連事業の推進並びに空港利用客の便宜向上のみならず、長崎県の横断軸として県勢浮揚に極めて重要な事業と存じます。

県ご当局におかれましては、こうした状況をご賢察の上、本事業の早期実現に向け、計画の推進を図られますよう強く要望致します。

要望項目第18号

五島連絡橋の建設促進について

福江商工会議所 提案

離島である五島は、海によって隔てられているという地理的制約から交通基盤整備の遅れ、地域産業の停滞、生活環境の未整備等解決を要する課題が山積しております。

今後、離島の産業経済、観光、文化等の開発振興を図るためには、基幹交通網の整備が不可欠と考えます。

島民の永年の念願であります五島連絡橋（福江～久賀～奈留～若松）の実現により、経済交流が盛んになり移入している生鮮製品の需給体制等、一次産業の活性化にも大きく寄与するとともに若者の定住を促進するなど、未来に夢と希望を与え、豊かな自然を生かした観光産業の振興など、地域の活性化に大きな期待をかけるものであります。

つきましては、これら五島連絡橋建設事業推進の為、特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。